



FAS住まい新聞

発行責任者
㈱福地建装
北斗市中野通 324
Tel 0138-73-5558
fax 0138-73-8460

◇ ペットとの暮らしと電気料金 ◇

9月に入りましたが、全国的には暑い日が続いており、今後も熱中症対策の継続が必要です。家の中での熱中症対策の一つとして、エアコンによる温度管理が重要ですが、気になるのが電気代かと思えます。

特にペットがいるご家庭においては、外出時でもエアコンをつけっぱなしにする必要があります、夏冬の電気料金が高くなりがちで悩ましいところです。

◇ 愛犬愛猫が感じる暑さ ◇

暑さを感じた際、人は汗をかくことで身体を冷やす機能がありますが、犬や猫はごくわずかな部位にしか汗をかくことができません。

犬や猫は暑さを感じた際、涼しい場所へ移動したり、冷たい場所に身体を密着させたりするなど物理的な対処法か、荒い口呼吸「パンティング」によって舌から体熱を発散させます。

犬の場合はパンティングによる体熱の発散は頻繁に見られますが、猫の場合は相当な体調不良にならない限りあまり見られません。また、猫のパンティングは急性なストレスを受けたときに見られることがあります。

犬や猫は体熱を発散しづらいため、暑さ対策をしっかりと行って熱中症を予防することが重要です。

猫はもともと砂漠地帯がルーツですが暑さに強いわけではなく、寒い地域に対応するために進化した猫種もいます。日本の夏は砂漠地帯と違って湿度が高く体熱を発散しづらい環境のため、室温だけではなく湿度にも注意する必要があります。



◇ 愛犬愛猫が感じる寒さ ◇

暑さだけではなく寒さもストレスで、体調不良につながる恐れがあります。暑さ寒さにより、じっとしている時間が増え、運動量の低下につながります。

更に、寒さを感じると排便、排尿を我慢することがあるため、体調不良につながる場合もあります。

特に猫は、寒さにストレスを感じやすい傾向があります。もともと砂漠地域で生きるために、少なめの飲水量で生きられるよう進化してきたことで濃い尿となります。

濃い尿をすることで腎臓に負担がかかり、膀胱炎や結石を起こすことも少なくありません。

愛猫が寒さで排便、排尿を我慢してしまうことは、健康のためにも大変心配なことです。

◇ 愛犬愛猫がいる住まいのポイント ◇

人と同様に住まいの環境によって、愛犬や愛猫もストレスを抱え、体調に悪い影響を及ぼす可能性があります。

愛犬や愛猫が健康で快適に暮らしていくための住まいの注目ポイントをご紹介します。



【愛犬・愛猫も快適に過ごす注目ポイント】

- ◎省エネ対応の冷暖房システムを選ぶ。
- ◎断熱・遮熱効果のある建材を選ぶ。
断熱例：高性能断熱材、ペア&トリプルガラス、二重窓など。
遮熱例：遮熱塗装工事、窓シェードなど。
- ◎調湿効果のある建材を選ぶ。
調湿例：調湿剤利用、調湿機能を備えた壁材、漆喰塗装など。
- ◎ペットドアを設置して空調の効きをよくするなど。

～ワンポイント！被毛のケアで暑さ対策～

犬の場合、犬種によって暑さや寒さへの耐性に差が見られます。犬の被毛は大きく分けると、上毛と下毛の2層構造の「ダブルコート」、上毛のみの「シングルコート」に分けられます。

雪国出身の犬種は、寒さに耐えられるよう毛量が多いダブルコートである場合が多いようです。

特にダブルコートで長毛の犬種は、その豊かな被毛によって、暑い夏に体熱がこもりやすいです。日頃の丁寧なブラッシングで余分な抜け毛を除去することにより、体熱の発散をサポートすることができます。

ダブルコートの代表的な犬種は、ゴールデン・レトリバー、日本犬、ポメラニアン、ダックスフンド、フレンチ・ブルドッグなどです。

チワワは個体によってダブルコートの子もシングルコートの子もいます。

参考：ペットライフスタイル(株)『愛犬・愛猫との幸せな住まい講座』

(著・業務企画部 柳田貴志)